



瀋陽市人民政府

市長 呂 志成 様

謹啓

このたび、貴殿が瀋陽市長に就任されましたことに、川崎市を代表して、謹んでお祝いを申し上げます。

また、1981年8月18日に川崎市と瀋陽市が友好都市提携を締結してから、40年間もの長きにわたり友好関係が続いていることを、川崎市民ともども嬉しく思います。これも瀋陽市長をはじめとする瀋陽市人民政府の関係者、瀋陽市民の皆様のお陰です。

これまで、本市と貴市は、友好都市締結議定書にあるように、日中平和友好条約の原則、精神を基に、両市並びに市民の間の親善交流の発展に向けて、経済・科学技術・文化・都市建設・教育・体育などの各方面の交流を行ってきました。

2020年には、新型コロナウイルス感染症の流行で世界中が未曾有の危機に直面する中、両市で助け合い、支援物資を送り合うことができたのは、ひとえに、長年に渡る交流の成果だと思っております。瀋陽市からいただいた支援物資に記載されていた「互いに見守り、助け合い、困難を克服する」のメッセージに、大変感動いたしました。

このように、私達は、友好都市提携当初から、互いを尊重し、学び合い、心を通わせながら協力してきました。また、苦しい時には助け合い、困難を分かち合ってきました。

本来であれば、友好都市提携40周年を記念して、お互いの都市を訪問し合い、これまで築き上げた友好の絆と両市の今後の未来に向けた協力関係について話し合いたいと思っておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、直接お目にかかることができず、大変残念に思います。

このような中、昨年、友好都市提携40周年記念事業の一環として実施した両市の高校生によるオンライン交流では、生徒同士が日頃から学んでいる互いの言語を用いて話をしたり歌を披露したりすることで、新たな交流の形を見出すことができました。両市のこれまでの交流の歴史に新たな1ページを加えられたことを嬉しく思うとともに、次世代を担う若者による永い交流を期待しているところです。

日本と中華人民共和国は、今年、日中国交正常化50周年、2023年には、日中平和友好条約締結45周年という節目の年を迎えます。

輝く未来、本市と貴市の来たる友好都市提携50周年に向けて、これまでに築き上げてきた信頼の絆を更に強固なものにしつつ、それぞれの強みを活かした交流を重ねることにより、友好関係をより一層発展させてまいりましょう。

結びにあたり、貴市のますますの御発展と、呂 志成市長をはじめ関係者の皆様、並びに市民の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。

敬具

2022年2月吉日

川崎市長

福田 紀彦